

これは何でしょう



親子タクミ 265

答えについての思い出などもお待ちしています。

■しめきり 5月10日火

■あて先 〒783 南国市大

塙甲二三〇一 南国市企画課

朝子クイズ係

■賞品 正解者の中から抽選で

5人の方に図書券を進呈

■第34回親子クイズの答えは、

ふきのとうでした。

第34回当選者発表 (敬称略)

岡林敦恵 (上末松)

岩貞泰子 (西山)

本川光子 (留井町)

中村里実 (前田)

久保春希 (前田)

思い出がいっぱい

◆今年は何回もふきのとうを天ぶらなどにして食べました。でもふきのとうが長くのびてふきの長さになったところも食えます。ふきのとうと一緒に、来年もまたひらく食べたいです。

◆春になると庭にたくさんのかずになります。

◆春になると庭にたくさんのふきのとうがるので、天ぶらにして食べるとてもおいしいです。今は、一輪さしに生けて、春の訪れを楽しんでいます。

◆おひたしにしてよく夕食のかずになります。

◆春になると庭にたくさんのふきのとうが好きじゃないけど、ふきの煮たのは大好きです。

◆毎年ふきのとうは少しにがいのであまり好きじゃないけど、ふきの煮たのはおいしいのです。

◆春になると庭にたくさんのふきのとうが出るので、天ぶらにして食べるとてもおいしいです。今は、とてもおいしいのです。



## おひな祭

### わかれ サークル仲間



今回は野田公民館の「和紙染色とちぎり画教室」におしゃましました。



講師の美濃部富子さんは、京都で勉強したこともあるそうで腕は確か。「美濃部先生に教えてもらうようになってから作品に立体感が出、よくなりました」という生徒さんもいます。

その美濃部さん「同じ染料で染めても1人1人色が違ってくるし、ちぎり画だと、同じ手本を使ってもその人のちぎり方次第で個性が出ます。そこが面白いところですね」とちぎり画の魅力を語ってくれました。

教室ではみなさん熱心に取り組んでいました。井上千代鶴さんは「初めは立体感がでなくて苦労しました。でも続けているうちに面白みがわかってきました。1枚の紙がいろいろに変化して、自分の思い描いている形に変わっていくのが楽しいです」と成果が出ているようです。また、溝利由記さんのように老人ホームに勤めていておじいさん、おばあさんに教えてあげられたらと思い始めた人もおり「難しいけど上手くなりたいから」と頑張っていました。

人間と動物とのいつともなく結ばれていく情愛、ビコへの思いは日ごと深まっています。何も食べなくなつて三日目獣医先生に入院をお願いしました。九日め、あらゆる手をつくして下さいました。ビコは虎毛に胸の毛が白く大きな目を開き、たまらなく可愛い思いで十二日間何も食べず、一瀬の木さらも口にしなかつた雄猫のビコは、折つて見ますと、もう七年も前、何処からともなくやつて来てその日も、あくる日も帰ろうとしないまま我が家の家族になりました。

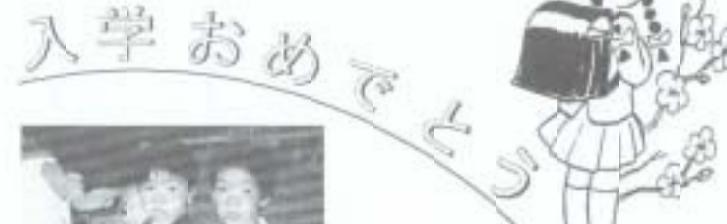
涙はとめどもなくあふれ迎いかけてくる悲しみを、どうする事も出来ない思いでした。十二日間何も食べず、一瀬の木さらも口にしなかつた雄猫のビコは、折つて見ますと、もう七年も前、何処からともなくやつて来てその日も、あくる日も帰ろうとしないまま我が家にいました。ビコ」と名付け、小柄で虎毛に胸の毛が白く大きな目を開き、たまらなく可愛い思いで十二日間何も食べず、一瀬の木さらも口にしなかつた雄猫にしてはとてもおとなしく、心からせぬ呼ばば必ず返事をし、遠くに居ても走つて帰るのでした。

今日は、大涌に「お庄まいの池本豊子さんからの投稿を紹介します。

その悲しみ 〈あれから一年……〉



石本きよかちゃん  
岩崎めぐみちゃん  
岩原こうへいくん  
片岡きょうこちゃん  
川村たかひさくん  
竹内まことくん  
片岡きょうこちゃん  
永野しんやくん



上級生のおにいちゃんが胸にリボンをつけてくれました。

今年も入学シーズンをむかえ、市内でもたくさんの一年生が誕生しました。幼稚園、保育所から、大学、会社まで期待と不安に満ちた新しい生徒がスクートしました。そんな中、四月七日、白木谷小では八人の新入生を迎えました。

### clubカラーボード



#### 香南中卓球部

現在15人ほどで活動している香南中卓球部のみなさん。学校の東側にある練習場で、ほとんど毎日練習をしています。

顧問の北村実先生はこの4月に同中に赴任してきたばかりですが、積極的に練習に参加し、部員たちからの信頼もあります。その北村先生が「自己に甘んじることなく、短時間で集中した練習を。勝つことに固執してほしいですね」というように、2時間ほどの練習ながら、内容の濃いメニューが組まれています。キャプテンの吉本幸司君も「だらだらやるのは好きじゃない。集中した練習をしたい」と、先生とのコンビネーションもばっちり。

市内では1、2を争う強豪で、県の大会で上位に食い込む部員も数人います。そんな部員たちをまとめるのが吉本君。「みんな仲良くやっています。学校を離れても一緒に遊んだり、部活を通じていろんな人と友だちになれたことが良かったと思います」と話してくれました。